

「分かち合いの会・ひかり」

発行責任者：植村ヨシ子

編集：京井幹男

発行日 2023年1月

No. 7



かっこいい生き方

瀬戸健一

- 一人でも幸せに生きる
- 自分が大切にされる
- 身近に居る人に感謝する
- 身近に居る人を笑顔にする
- 傷つけてくる人から離れる
- それが身内だとしても離れる
- 求めていることを伝えられる
- 過去を気にしすぎない
- 未来を気にしすぎない

「生きるとはまわりを幸せにし感謝することに感銘を受けた（ヨシ子）」



分かち合いの会・ひかり in 豊中（定例会・毎月第二土曜日）

分かち合いの会・ひかり in 池田（定例会・毎月第三土曜日）

いずれも午後2時から・事前申込み不要・参加費無料

問い合わせ先：植村ヨシ子（代表） 電話080-3858-2954

みんなで話そう

「結衣へ」

「心穏やかに過ごしているの
 でしょうか？自死のときの
 苦しみから解放されて、安
 らかに眠れているのでしょ
 うか？仏様が本当にいらつ
 しゃるのなら、母の願いは
 それだけです。仏様、どう
 か娘が苦しみから自由にな
 り、安らかに眠れるように
 お導きください」

れる原因を挙げつらってい
 た。しかし、やがて全ての
 要因は私自身であることに気
 付いた。転校させたり、両親
 の離婚を体験させたり、自分
 たちの都合で娘を振り回して
 いた。精神疾患をよく理解せ
 ずに自分の主観だけで子を責
 めていた。

結衣が亡くなった後、暫
 くは、薬物や自死の方法も含
 む青少年に有害な情報も溢
 れるインターネットのこと、
 娘の担当だった精神科医の
 こと、進み過ぎた医学によつ
 て処方される多量の薬のこ
 と、娘のかつての同級生に
 よるいじめのこと、考えら

半年が経った頃、責める相
 手を探し恨んでも結衣は帰っ
 てこない事を悟った。それよ
 りも私がすべき事は結衣が
 平和に過ごせるように供養す
 る事しかないと思った。
 「本当にごめんね、ごめんね。
 私が不幸になっても、どうか
 結衣の苦しみを取り除かれま
 すように。どうか安らかにお
 眠りください」

